

法人本部

2021年度は聖隷福祉事業団のVISION2025「中期事業計画 2021-2025」が始動する。中期事業計画では組織間連携、人材確保、DX、働き方改革、財務体質強化など法人本部の働きが期待される項目が列挙されており、2021年度は中期事業計画を推進する基盤をつくる年度とする。労務、人事（制度・採用）、情報、財務などの機能が各事業部と融合し聖隷全体の未来に寄与する仕組みを構築する。また、近年多発する大規模災害に備えた防災対策についても強く推進していく。

少子高齢化の進展にコロナ禍も相まって、地域における公益的な取組の推進など社会福祉法人に対する期待は高まっており、ガバナンスやコンプライアンスの強化、戦略的なICTの整備やSDGsを絡めた広報展開など社会的な信頼の獲得とより高い経営力が発揮できる体制整備に努めていく。法人本部では次の項目を2021年度重点目標として掲げる。

1. 社会福祉法人として最高の質を追求した事業を展開する
2. 地域ごとの課題解決に繋がる事業部間の連携を構築する
3. 人材の確保と育成を推進する
4. 大規模広域法人としての強みを活かした仕組化を推進する
5. 聖隷DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進する
6. ディーセント・ワーク（人生と両立できる働きがいのある仕事）（※3）を推進する
7. 現有資源を有効に活用し経営環境の急変にも揺るがない財務体質とする

各部署は、次の年度事業目標（重点施策）を策定する。

[総務部]

1. 地域における公益的な取組等を適切かつ積極的に情報開示する
2. 事業部間を超えた情報共有の仕組みを構築する
3. 次世代の総務役職者の育成をする
4. 広域防災対策本部としての役割の見直しをする
5. WEBによる会議・研修会の開催の拡大をする
6. 給与明細の電子交付率、メールアドレス登録率の向上を図る
7. ICTや電子申請等を活用した業務効率化・集約化及び職員の利便性向上を図る
8. 福利厚生サービスの検討をする
9. 職員が生き生きと働ける労働環境に整備する
10. 医師等専門職の働き方及び処遇の検討をする

[人事企画部]

1. 多様な人材・必要な人材を採用する
2. 多様な人材が活躍できるよう育成を行う
3. 公正公平な人事評価を実現する
4. 職員が働きやすい環境づくりと配置を実現する

[財務部]

1. BS 経営、CF 経営の推進による事業団経営管理機能強化
2. 財務部門における生産性・効率性向上に向けた取り組み
3. 経理職員の育成
4. 災害対策への取り組み

[総合企画室]

1. 将来を見据えた事業計画・組織改革を実施する
2. 効果的な経営支援の実践を通して経営を担う人材を育成する
3. 全国の社会福祉法人の模範となる広報活動の強化と推進する

[総合情報システム部]

1. ICT を活用した情報基盤の確立と先駆的な取り組みの実施
2. 将来の情報部門の在り方検討と最適な人的リソース配置の実施
3. 情報部門に必要とされる人材育成と高度情報技術を所有する者の採用
4. IOT や AI を駆使した提案によるビジネスプロセス効率化の実現
5. クラウド化及びオンラインコミュニケーションツールの利用拡大と情報セキュリティ強化

[監査室]

1. 内部監査の精度向上
2. 内部通報制度の充実
3. コンプライアンス経営に資する教育活動